

第13課 主を待ち望む 3月30日

1. 主を待ち望むことを学ぶ

- ①詩編 27 編 13～14 節。
- ②詩編 37 編 7 上句、9、34 節上句。
- ③イザヤ書 40 章 28～31 節。
- ④「主を待ち望む」とは、どういう意味ですか？
- ⑤イエス様の生涯の中で、彼が「主を待ち望む」ということを学ばなければならなかった時期をシェアして下さい。
- ⑥あなたの人生において、「主を待ち望む」ということを学ばなければならなかった時期をシェアして下さい。

2. 待つ間、平和でいる

- ①詩編 131 編 1～3 節。ダビデのこの詩編の中でシェアされている、主を待ち望むことについての重要な真理とはどんなものですか？
- ②母から乳離れした子供の描写から、どんな教訓を学ぶことができますか？
- ③平和のうちに待つことができるよう確信させてくれる、主の約束にはどんなものがありますか？ヨハネによる福音書 14 章 27 節、16 章 33 節、他。

3. 待つ間、働く

- ①詩編 126 編 5～6 節。栄光ある希望を完全に認識するために、主を待つ間、私たちに与えられている特別な使命の課題とは、どんなものですか？
- ②収穫する働き人としての私たちにイエス様が与えている確信とは、どん

なものですか？マタイによる福音書 9 章 37 節上句。

- ③少なすぎる働き人という挑戦に、私たちはいかに応答すべきですか？マタイによる福音書 9 章 37～38 節。
- ④主を待つ間私たちが収穫において働く時の経験は、どんなものになりますか？ヨハネによる福音書 4 章 34～38 節。

4. 主を待つ間、安息日の休みを経験する

- ①マルコによる福音書 2 章 28 節。
- ②出エジプト記 20 章 8～11 節。
- ③イエス様は、安息日に善行を行うことは善いと教えられました。通常の働きと、安息日の主をあがめる奉仕とを、いかに区別することができますか？マタイによる福音書 12 章 12 節下句。
- ④イエス様の御名によって他者に奉仕した時に、安息日の霊的な休みを経験した時のことをシェアして下さい。

5. 朝の喜びを期待する

- ①詩編 30 編 6 節下句（5 節下句、口語訳）—「喜びの叫び」（NASB 版訳）
- ②ここで詩編記者が言及しているのはどんな「朝」ですか？一涙の夜の後の新しい始まりですか、それとも、偉大は復活の朝ですか（ヨハネによる福音書 6 章 39～40 節）？
- ③涙の夜を乗り越えるために、朝には喜びが来るという確信は、いかに助けとなりますか？
- ④愛する人の死の経験をシェアして下さい。朝には喜びが来るということを知る時、あなたの悲しみは、どのように違ったものになりますか？テサロニケの信徒への手紙 1・4 章 13～18 節。